

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 27.3.27 第 189 回国会第 5 号

3 月 27 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 経済産業の基本施策に関する件

- ・宮沢経済産業大臣、越智内閣府大臣政務官、関経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役社長

廣瀬直己君

（質疑者及び主な質疑内容）

神山洋介君（民主）

- ・資源の乏しい我が国において活用が重要視される地熱発電について、推進を加速させていくための規制緩和に関する政府の見解を伺いたい。
- ・地域の振興策にもなる温泉発電について、より一層の規制緩和を行う必要性に関する政府の見解を伺いたい。

篠原孝君（民主）

- ・米国では地震の頻度が比較的高い西海岸に原発が設置されていないこと等を踏まえ、安全と言う原点に立ち返って原子力政策を検討する必要があるのではないか。
- ・原発再稼働に過半数が反対している世論調査の結果及び諸外国における原発の新規増設中止の動向等を踏まえると、廃炉の期限内に新規増設ではなく代替エネルギーの確保を図るべきではないか。

馬淵澄夫君（民主）

- ・政府では原発コストの試算に当たり事故確率を低く抑える方向で議論が進められているが、原発の事故確率は厳しく評価する必要があるのではないか。
- ・政府の資料では再生可能エネルギーを自給率やCO₂排出量において原子力より劣るとしているが、その議論の妥当性について宮沢経済産業大臣はどのように考えているのか。

木下智彦君（維新）

- ・福島第一原発の汚染水に関する国民の不安を払拭するため、より実態に即した情報公開を行うべきだと考えるが、宮沢経済産業大臣の所見を伺いたい。
- ・将来、外国で原発事故が起こった際に我が国の知見を活用するため、東京電力ではなく国にノウハウを蓄積するべきではないか。

鈴木義弘君（維新）

- ・研究開発に係る補助や助成について、採択された事業の成果の検証等はどのように行われており、今後その仕組みをどのように改善していくのか。
- ・金融機関の融資が担保や信用保証に依存しており、事業自体の将来性を審査する目利き力が養われていない現状に対する政府の見解を伺いたい。

岡下昌平君（自民）

- ・政府が行っているエネルギーミックスに関する議論の進捗状況及び結論が出る時期の見通しを伺いたい。
- ・エネルギーミックスに関する議論に際しては、中小企業にとって再生可能エネルギーのコストが割高であることに留意すべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。

富田茂之君（公明）

- ・福島第一原発における凍土遮水壁の設置工事の進捗状況はどのようになっており、またその必要性に関する原子力委員会の議論はどのような状況なのか。
- ・原子力規制委員会が考える貯蔵液体放射性廃棄物の処理及び海洋への放出の方針の在り方について伺いたい。

真島省三君（共産）

- ・福島第一原発のK排水路からの汚染水流出問題に関し、流出判明後1年間もデータが公表されなかった理由を廣瀬東京電力社長に伺いたい。
- ・K排水路からの汚染水流出問題において、データの公表や対策を東京電力任せにしてきた国の姿勢について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。

2 株式会社商工組合中央金庫法及び中小企業信用保険法の一部を改正する法律案（内閣提出第 17 号）

- ・ 宮沢経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。